

アメリカ空軍第4偵察飛行隊の横田基地への移転の中止に関する意見書(案)

令和8年5月28日、防衛省北関東防衛局から関係自治体に対し、「グローバル・ホークを運用するアメリカ空軍第4偵察飛行隊をグアムのアンダーセン空軍基地から横田飛行場へ順次移転させる。本年の夏から人員及び装備品の移転を開始する」と突然、説明があった。

防衛省北関東防衛局は、「我が国を取り巻く安全保障環境と、横田飛行場が置かれている状況を総合的に勘案すれば、今回のような、部隊、装備及び人員等の追加を含む横田飛行場の態様の変化はやむをえないものと認識している」などと説明した。

アメリカ側は、横田基地へ配備されるグローバル・ホーク(RQ-4B)は3機、人員配置は約150名規模、面積や施設の拡充はなく、新たな施設建設は行わず既存施設を活用し、必要な改修を行った上で使用するとしている。

しかし、同年6月1日、横田基地周辺市町基地対策連絡会は、アメリカ空軍第4偵察飛行隊の横田飛行場への移転について要請を行い、「基地周辺住民の負担が増すこととなる横田飛行場の態様の変化は、誠に遺憾である」と述べている。

グローバル・ホークは、横田基地への一時展開が3年以上にわたり継続されている。このまま常駐化すれば、ますます横田基地の強化につながることは明らかであり、極めて危険な動きである。

よって、東京都議会は、国会及び政府に対し、アメリカ空軍第4偵察飛行隊の横田基地への移転の中止を求めるよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月 日

東京都議会議長 増子博樹

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
外務大臣
防衛大臣

} 宛て